

### 第3回 東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設用地検討委員会 会議録

<開催日時>

平成28年1月26日(火) 午後2時から午後4時まで

<開催場所>

東金市外三市町清掃組合4階大会議室

<出席者>

○新ごみ処理施設用地検討委員会

鈴木委員長、久保委員

○事務局

東金市外三市町清掃組合管理者 志賀直温

東金市外三市町清掃組合副管理者 金坂昌典、大矢吉明、椎名千収

東金市外三市町清掃組合総務課

日暮事務局長、小川総務課長、田中計画係長、関谷主査、森澤主事

<会議内容>

1. 開会
2. 委員紹介
3. 理事者紹介
4. 諮問
5. 議事
  - (1) 第2回会議録について
  - (2) 新ごみ処理施設建設候補地について

6. その他

7. 閉会

<議事概要>

1. 開会  
日暮事務局長の開会の言葉。
2. 委員紹介  
管理者、副管理者への委員の紹介。
3. 管理者、副管理者紹介  
委員への管理者、副管理者の紹介。
4. 諮問  
志賀管理者から鈴木委員長へ諮問がされた。  
諮問内容「新ごみ処理施設建設用地候補地のうち、最終評価候補地の評価結果の報告」
5. 議事  
議事に入る前に、委員により資料の確認と第1回目の会議録の決裁がされた。
  - (1) 第2回会議録について
    - ・第2回の公開用会議録について、事務局により作成された会議録が提示され、委員の確認があった。

【以下主な質疑・意見】

＜委員＞ 評価基準について委員が触れている部分で「仮に2.0haという面積要件を一次、二次評価で満たしていたとしても、その後、有効敷地面積が全くない場合、施設整備に支障を来す。」としていますが、「全くない」ということは考えにくいので、その点を修正するように。

＜事務局＞ 承知した。

(2) 新ごみ処理施設建設候補地について

・組合により実施された「新ごみ処理施設建設候補地の募集」へ応募があった8箇所について説明がされた。各応募地についての質問は、文書で対応することとし、それについて事務局が質問の内容について精査し、次回の会議で審議されることとなった。

【以下主な質疑・意見】

＜委員＞ 文化財の包蔵地となっている候補地があるが、文化財の調査にどのくらいかかるのか。

＜事務局＞ 試掘を行い、文化財が出土した場合、長期になると考えている。

＜委員＞ 同じく、農業振興地域となっている候補地がいくつかあるようだが、解除はできるのか。

＜事務局＞ 農業振興地域の中でも両総用水の受益地だと解除が厳しいとの話を聞いている。個人の農業振興地域の除外だとまず許可がおりないが、当事業は当組合の公共事業であるため、公共の利益という観点から取り扱いが異なると考えている。最終候補地の決定後に市の担当部署と相談することとなる。解除可能かどうかは今では何ともいえない。

＜委員＞ 一次評価で、農業振興地域、埋蔵文化財についてチェック項目があるが、評価が難しい問題と考える。

＜委員＞ 評価基準に則り進めていくこととする。

6. その他

・次回第4回委員会として2月9日(火)に候補地の現地調査を行うこととなった。

7. 閉会

会議資料
------

次第4 諮問

[諮問書\(写\)\(PDF\)](#)